

YCだより

YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報を届けします。

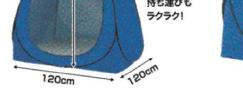
県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

床に置くだけで一瞬で自動的に立ち上がり 組み立て簡単、非常用簡易トイレ

震災時など、災害時の備えに!



換気用小窓、天窓付き



小さく折り畳んで持ち運びもラクラク!

耐荷重量
約120kg

目隠し用のポンチヨ付

水がなくても
使える被災時に
困るのは
やはりトイレ!

テント&トイレセット

9,680 税込円

申込番号
680127

送料990円



トイレ本体、便座、凝固剤5個、汚物袋5袋、ポンチヨ1枚

販売
通販ね・せば商品のお申し込みは通話料無料のフリーダイヤルで
0120-860-432

講売情報報知 YCサポート部

J-WAVE

TEL:02-8618 東京都千代田区平河町2-13-3

AM9:00~PM8:00 (土・日・祝日もお受けします)

※ご注文の際は電話番号、商品番号をオペレーターにお申し付けください。

送料990円 支払方法
クレジットカード(毎月一括払い、りぶ払い、分割払い)
銀行振込、郵便振込企画番号 5566 受付 2021年
締切 11/25(木) 商品登録 2021年
12月上旬より● 非常用簡易トイレ
● サイズ(約): 幅30×奥行31×高さ32cm、収納時: 幅34.5×奥行34.5×高さ9cm ● 重量(約): 3.25kg ● 耐荷重量: 約120kg ● 材質: 塑造: ポリプロピレン、底板: ポリエチレン、凝固剤: 高分子ポリマー ● セット内容: 本体x1、便座x1、汚物袋x5枚、凝固剤x5個、簡易ポンチヨx1 ● 日本製

創部10年の節目に出雲初出場V

東京国際大

埼玉県内に練習拠点を置く大学駅伝チームを紹介する「埼玉から箱根への道」。第3回は、出雲駅伝(10月10日、島根・出雲市)で学生3大駅伝を通じて初優勝を飾った東京国際大。

坂戸市で4人から

ちょうど10年前。埼玉・坂戸市に東京国際大駅伝部は誕生した。

2011年に創部した当時、坂戸から箱根への道は、遠かった。中大OBの横溝三郎総監督(81)と大志田秀次監督(59)という経験豊富な指導者が就任したが、チームとしての実績はゼロ。初年度の部員はわずかに4人。箱根駅伝の10区間よりも少なかった。大志田監督が校内放送で部員募集を呼びかける日もあった。「翌年度の新入生勧誘のため、全国を回りましたが、話を聞いてくれませんでした」と大志田監督は苦笑いで振り返る。

苦難の連続だった。それでも、坂戸から箱根へ一步ずつ近づいた。坂戸キャンパスに完備された全天候型の400mトラック、1周700



箱根のクロスカントリーコース、選手寮など充実した練習環境で、チームは徐々に、そして、確実に成長した。

飛躍への転機は2015年に訪れた。それまで箱根駅伝予選会の成績が同程度だったライバル校の創価大が箱根駅伝初出場を決めた。選手寮の廊下の掲示板には創価大の躍進を伝えるスポーツ報知が貼られた。「この悔しさ忘れな、次こそ必ず！」部員全員の思いも一緒に記された。箱根駅伝初出場を果たしたのは、その翌2016年。ついに、坂戸から箱根への道はつながった。

2年連続シード権

多くの先輩たちの思いが引き継がれ、チームはさらに成長を続けた。2020年の箱根駅伝で5位入賞を果たし、初のシード権を獲得。

ライバル創価大の躍進で奮起

今年の箱根駅伝でも10位と踏ん張り、2年連続でシード権を守った。東京五輪1万メートル代表の伊藤達彦(23)=現ボンバー=という世界で勝負できる選手も生まれた。

そして、今年10月10日。学生3大駅伝の今季開幕戦、出雲駅伝でライバル校と駅伝ファンに衝撃を与えた。3区の丹所健(3年)がトップに立つと、そのまま独走。最終6区のイエゴン・ヴィンセント(3年)が悠々と優勝のゴールテープを切った。出雲駅伝初出場で初優勝。学生3大駅伝通じて初めてとなる優勝を飾った。

創部から10周年のメモリアルイヤーに快挙を成し遂げた。「坂戸でチームが生まれてから10年。いつも、

地元の皆さんに応援していただいた。少しだけ恩返しができただけだと思います」。大志田監督は謙虚に話す。

7区途中まで首位

第2戦の全日本大学駅伝(11月7日)でも7区途中まで首位を走るなど健闘を見せた5位。存在感を發揮した。

残るは箱根駅伝(来年1月2・3日)。青学大の原晋監督(54)は「出雲駅伝で東京国際大の走りは見事でした。箱根駅伝でも強いでしょう」と敬意を表すとともに、最大限に警戒する。

坂戸で走り込む東京国際大が箱根路を制する日は、いつか、きっと訪れるだろう。(竹内 達朗)

箱根最高5位

◆東京国際大 1965年、国際商科大として創立。86年から現校名。2008年に野球部の監督に元広島の古葉竹義氏を招くなど複数の運動部を強化。駅伝部は11年に中大OBの横溝三郎総監督、大志田秀次監督の指導体制で創部。箱根駅伝には16年に初出場(17位)。最高成績は初のシード権を獲得した20年の5位。今年の出雲駅伝で3大駅伝通じて初優勝。全日本大学駅伝の最高成績は初出場した19年の4位。タスキの色は紺青。大学の主なOBは作家の横山秀夫氏。駅伝部の拠点は、埼玉・坂戸市。



2017年12月12日当時、箱根駅伝に向け調整を行う東京国際大の選手たち(東京国際大坂戸キャンパス第3グラウンドで)



ありがとう
亀井

「まだお送りください。締め切りは11月30日必着です。新聞東京本社報知局「さくら」までお送りください。編集部の発送をもって代えさせていただきます。」

▽「巨人亀井引退特別号
(タオロイド判424号+特大写真シートカラー)」

今シーズンで17年間の現役生活に終止符を打つ、ジャイアンツ亀井善哉選手の引退特別号を10名様にプレゼントします。通算7度のサヨナラホームランの振り返り、スポーツ報知歴代担当記者が明かす

「さくら」でのモニター様模様などを見返すとともに、紙面に対する感想を明記の上、〒110-814185に郵送下さい。ご希望の方はハガキに住所を記入して下さい。

『東日本女子駅伝県選手選考会』において県代表として最高峰の走りをしていただきたいと思います。期待しています。

越谷市 Y・Sさん(女性)
「さくら」は毎日知りたいもの楽しみにしています。熱戦のナイスショットや集合写真の一人一人の輝いてる瞳を見るのが大好きです。特に地元・草加が成績が良い嬉しいです。これからも期待しています。

読者市 Y・Sさん(女性)
「毎月楽しく読んでいます。身近な情報がたなびいて嬉しいです！」

読者市 K・Nさん(女性)
「毎月楽しみでます。特に地元・草加が大好きです。特に地元・草加が

+ +